

グローバル株式厳選ファンド

愛称：セカイノヒカリ

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2024年8月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル株式厳選ファンド」は、2024年8月20日に第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2023年8月16日から無期限です。	
運用方針	日本を含む先進国および新興国の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の積極的な成長を図ることを目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル株式厳選ファンド	・RMグローバル厳選株式マザーファンドの受益証券
	RMグローバル厳選株式マザーファンド	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	グローバル株式厳選ファンド	・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	RMグローバル厳選株式マザーファンド	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等を分配対象額とし、原則として基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

りそなアセットマネジメント 株式会社

東京都江東区木場1丁目5番65号

ホームページ：https://www.resona-am.co.jp/

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

フリーダイヤル：0120-223351

（委託会社の営業日の午前9時～午後5時）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	中 率	(参考指数)		
(設定日)	円	円		%		%	百万円
2023年8月16日	10,000	—	—	—	223,435.10	—	1
1期(2024年8月20日)	12,405	0	24.1	24.1	278,884.59	24.8	16

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc. に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース)		株式組入比率
	騰 落 率	%	(参考指数)	騰 落 率	
(設定日)	円	%		%	%
2023年8月16日	10,000	—	223,435.10	—	—
8月末	10,171	1.7	227,472.87	1.8	98.7
9月末	9,589	△ 4.1	222,647.89	△ 0.4	98.6
10月末	9,107	△ 8.9	215,323.70	△ 3.6	98.7
11月末	10,091	0.9	231,310.37	3.5	98.8
12月末	10,433	4.3	235,247.18	5.3	98.7
2024年1月末	11,024	10.2	247,919.85	11.0	98.7
2月末	11,869	18.7	260,555.44	16.6	98.8
3月末	12,177	21.8	271,229.67	21.4	98.5
4月末	12,452	24.5	275,232.10	23.2	98.7
5月末	12,392	23.9	281,365.85	25.9	98.6
6月末	13,332	33.3	297,994.48	33.4	105.4
7月末	12,267	22.7	281,581.83	26.0	98.7
(期末)					
2024年8月20日	12,405	24.1	278,884.59	24.8	98.8

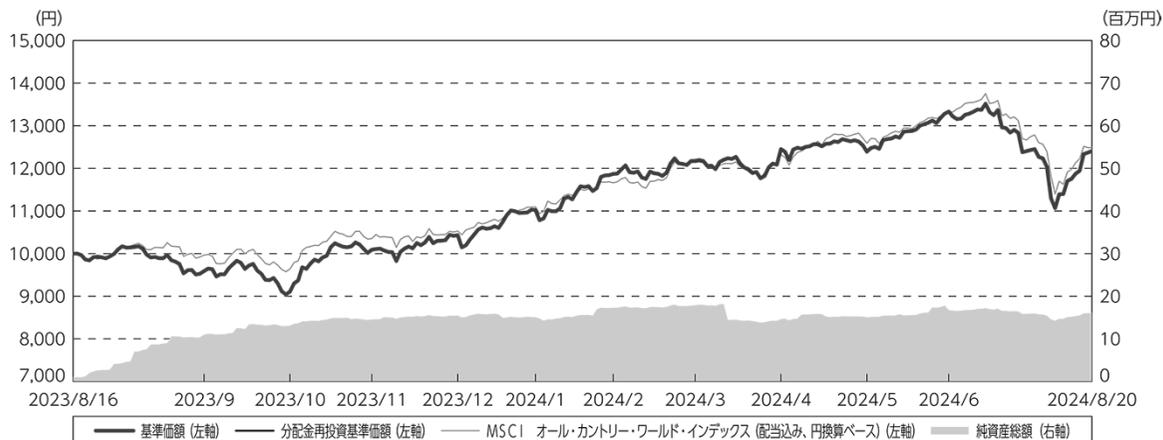
(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2023年8月16日～2024年8月20日)

期中の基準価額等の推移



設定時：10,000円

期 末：12,405円 (既払分配金(税引前)：0円)

騰落率： 24.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は当ファンドの参考指数です。
- (注) MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円換算ベース)は、MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc.が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc.に帰属します。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の変動要因

米政策金利の引き下げ観測を受けて米景気軟着陸への期待が高まったことや、生成AIの急速な普及に伴う半導体関連株の業績拡大が支援材料となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。

投資環境

グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、設定時と比較して上昇しました。設定当初は、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ局面終了への期待感が下支えとなった一方、中東情勢の緊迫化などを受けて相場は不安定化する局面もみられました。期後半は、米国を中心に景気軟着陸への期待が高まったほか、AI（人工知能）関連銘柄を中心とした好決算が支援材料となり、グローバルの株式市場は上昇しました。期末にかけては、米国の景気後退が意識されたことで、大きく下落するなど一時的に不安定な動きとなりました。

為替市況

設定時と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対しては、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め策を継続する一方、日銀は金融緩和策を維持したことなどから、円安が進行しました。その後、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、再度円安が進行しました。期末にかけては、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRBによる利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が急速に進行しました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）がインフレ抑制姿勢を維持するなか、円安が進行しましたが、期末にかけては、日銀が追加利上げを実施したことなどから、円高ユーロ安が進行しました。

新興地域において、中国では期を通して緩和的な金融政策を維持するなか、1米ドル=7.2円を挟んだ動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンド

RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組み入れて運用を行いました。

なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行っておりません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■ アクソン・エンタープライズ（米国）

警察など法執行現場で使用される非致死性兵器の開発メーカーで、ワイヤー針射式スタンガンであるテザー銃では独占的シェアを有しています。最近ではテザー銃での成功を足掛かりにボディカメラやクラウドサービスなどへ製品を拡大し、ボディカメラではすでに業界トップシェアを確立しています。また、各国の法執行機関のDX（デジタル技術を活用した業務プロセス改善）進展を支援するなど海外展開も加速しており、法執行現場での安全性と透明性が求められるなか、さらなる成長が期待されています。足元まで好調な業績が続いていることを受けて、当期株価は堅調に推移しました。

■ モノリシック・パワー・システムズ（米国）

デジタル技術を活用したアナログIC（集積回路）の設計・開発を行う企業です。デジタル技術を使いアナログICを形成するという独自のコンセプトをもとに、大幅なコスト削減や製造および管理の効率化を可能としたことで、家電向けからデータセンターや車載向けへと付加価値の高い領域に製品提供の場を広げています。顧客企業が希望する性能や仕様に対して柔軟かつ迅速に試作品を提供し、早期の製品投入を支援できる体制が評価され、今後とも市場シェアの拡大が見込まれます。当期はAI（人工知能）サーバー向けへの売り上げ伸長が好感され、株価が上昇しました。

<マイナス要因>**■ アライン・テクノロジー（米国）**

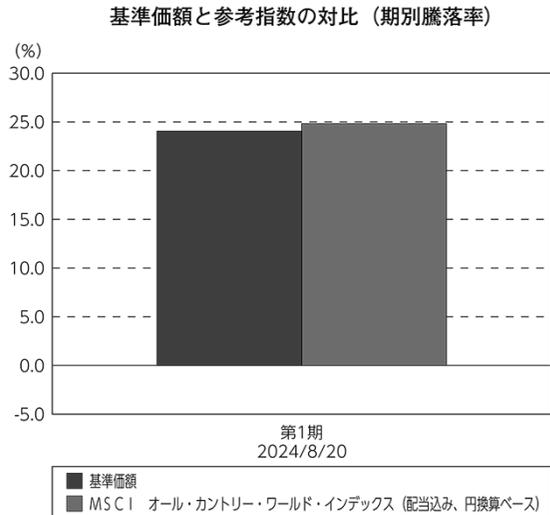
透明な樹脂製マウスピース型矯正装置を提供するパイオニア企業です。同社の矯正装置は既存の金属製矯正装置に対して外見の審美性や装着感で優位性があります。歯列矯正における標準が金属矯正からマウスピース矯正に移行する可能性が高まるなか、技術開発や膨大なデータ蓄積によって対応症例の拡張が進んでおり、さらなる業績成長が期待されています。業績は好調に推移していましたが、足元、主力市場である中国の景気後退や米国でのインフレ進展による消費意欲低下に伴う業績への懸念の強まりが、株価の重しとなりました。

■ エムスリー（日本）

医療従事者向けの情報提供サイトの運営会社です。国内では90%超の医師が、また海外でも多数の医師が当サイトの会員となっています。医師との強い接点を活かして、薬剤を始めとする最新の医療情報を提供するなど多様なサービスを展開しています。医療現場での様々な非効率性解消を収益として取り込むとともに、製薬企業のDXのサポート役として成長が期待されています。当期はコロナ特需の反動による業績への影響が長引き株価は軟調となりましたが、特需剥落による業績の最悪期は過ぎたと判断し、また中長期での成長性に対する見方にも変化は無いことから、保有を継続しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額の水準、市況動向等を勘案した上で、分配を見送りとさせていただきます。収益分配にあてなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第1期
	2023年8月16日～ 2024年8月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,405

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンド

引き続き、RMグローバル厳選株式マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。なお、原則として、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行いません。

RMグローバル厳選株式マザーファンド

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

米国ではインフレの鈍化が顕著となり、政策金利のピークアウト、景気軟着陸への期待からグローバル株式市場は上昇を続けていますが、足元では株価上昇に対する過熱感や米景気後退への懸念から大きく調整する局面もみられており、大統領選挙を控え、今後も不安定な動きが予想されます。

そうしたなか、短期的な相場動向には左右されず、独自の競争力評価のフレームワークを駆使してグローバルでの競争に今後も勝ち続ける企業を発掘、投資してまいります。また、地政学リスクを始めとした外部環境の変化を注視しながら、企業の現在および将来の競争力への影響を評価し、必要と判断すればポートフォリオの見直しを実施してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 8 月16日～2024年 8 月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	188	1.673	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(92)	(0.820)	ファンドの運用・調査、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(92)	(0.820)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	12	0.106	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(12)	(0.106)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.020	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(2)	(0.020)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.027	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	205	1.826	
期中の平均基準価額は、11,242円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

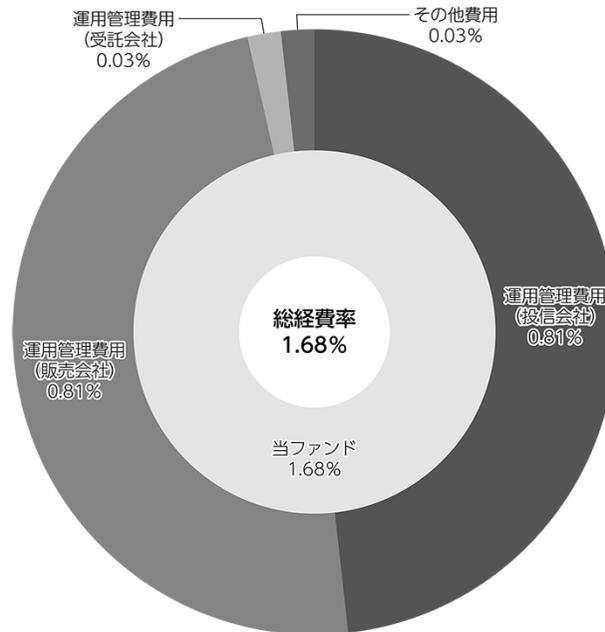
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.68%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年8月16日～2024年8月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
RMグローバル厳選株式マザーファンド	千口 9,250	千円 22,330	千口 3,670	千円 10,008

○株式売買比率

(2023年8月16日～2024年8月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	RMグローバル厳選株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	32,988,384千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,720,362千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.03

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月16日～2024年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年8月16日～2024年8月20日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年8月16日～2024年8月20日)

設定時残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引理由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2024年8月20日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
RMグローバル厳選株式マザーファンド		5,579	16,066

○投資信託財産の構成

(2024年8月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
RMグローバル厳選株式マザーファンド	16,066	99.0
コール・ローン等、その他	157	1.0
投資信託財産総額	16,223	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) RMグローバル厳選株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(31,198,275千円)の投資信託財産総額(36,299,302千円)に対する比率は85.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=146.45円、1ユーロ=162.31円、1スイスフラン=169.86円、1デンマーククローネ=21.75円、1オーストラリアドル=98.49円、1香港ドル=18.81円、1新台幣ドル=4.5718円。

○特定資産の価格等の調査

(2023年8月16日～2024年8月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,223,697
コール・ローン等	155,910
RMグローバル厳選株式マザーファンド(評価額)	16,066,787
未収入金	1,000
(B) 負債	135,767
未払解約金	33
未払信託報酬	135,281
その他未払費用	453
(C) 純資産総額(A-B)	16,087,930
元本	12,968,770
次期繰越損益金	3,119,160
(D) 受益権総口数	12,968,770口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,405円

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は21,805,957円、期中一部解約元本額は9,837,187円です。

(注) 当期末の1口当たり純資産額は1,2405円です。

○損益の状況 (2023年8月16日～2024年8月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	-
受取利息	1
支払利息	△ 1
(B) 有価証券売買損益	2,211,067
売買益	3,533,788
売買損	△1,322,721
(C) 信託報酬等	△ 238,090
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,972,977
(E) 追加信託差損益金	1,146,183
(売買損益相当額)	(1,146,183)
(F) 計(D+E)	3,119,160
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	3,119,160
追加信託差損益金	1,146,183
(配当等相当額)	(16,404)
(売買損益相当額)	(1,129,779)
分配準備積立金	1,972,977

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(91,046円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,881,931円)、および信託約款に規定する収益調整金(1,146,183円)より分配対象収益は3,119,160円(1万口当たり2,405円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

○お知らせ

- ・「受益権の申込単位および価額」、「信託契約の一部解約」の各条文について、指定販売会社における投資者からの申込形態を考慮して誤解を招くことのない文言とするため、約款に所要の変更を行いました。(2024年1月17日)

RMグローバル厳選株式マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日 2024年8月20日）
（2023年8月22日～2024年8月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2019年8月28日から無期限です。
運用方針	<p>①主として、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場または店頭登録されている株式*に投資し、信託財産の積極的な成長を目指します。 *上場予定、店頭登録予定を含みます。 *DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証券等を含みます。</p> <p>②経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。</p> <p>③株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。</p>
主要投資対象	・国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式
主な投資制限	・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

りそなアセットマネジメント 株式会社

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株式 組入比率	純資産 総額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
(設定日) 2019年8月28日	円 10,000	% —		% —	% —	百万円 499
1期(2020年8月20日)	13,576	35.8	128,727.59	16.7	99.1	667
2期(2021年8月20日)	19,661	44.8	171,088.18	32.9	98.9	950
3期(2022年8月22日)	19,663	0.0	196,029.65	14.6	98.4	9,858
4期(2023年8月21日)	22,452	14.2	219,080.47	11.8	98.4	21,433
5期(2024年8月20日)	28,797	28.3	278,884.59	27.3	98.9	36,298

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額（元本＝10,000円）です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が円換算して計算したものです。MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した、日本を含む世界の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものであり、指数に関する著作権、知的財産権その他の権利はMSCI Inc. に帰属します。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		MSCI オール・カンントリー・ ワールド・インデックス (配当込み、円換算ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率
	円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2023年8月21日	22,452	% —	219,080.47	% —	98.4
8月末	23,311	3.8	227,472.87	3.8	98.8
9月末	21,923	△ 2.4	222,647.89	1.6	98.8
10月末	20,876	△ 7.0	215,323.70	△ 1.7	98.8
11月末	23,170	3.2	231,310.37	5.6	98.9
12月末	23,985	6.8	235,247.18	7.4	98.9
2024年1月末	25,361	13.0	247,919.85	13.2	98.8
2月末	27,357	21.8	260,555.44	18.9	98.9
3月末	28,109	25.2	271,229.67	23.8	98.6
4月末	28,771	28.1	275,232.10	25.6	98.8
5月末	28,668	27.7	281,365.85	28.4	98.8
6月末	30,882	37.5	297,994.48	36.0	98.9
7月末	28,455	26.7	281,581.83	28.5	98.9
(期 末) 2024年8月20日	28,797	28.3	278,884.59	27.3	98.9

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2023年8月22日～2024年8月20日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の変動要因

米政策金利の引き下げ観測を受けて米景気軟着陸への期待が高まったことや、生成AIの急速な普及に伴う半導体関連株の業績拡大が支援材料となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一となるよう指数化しています。

投資環境

グローバル株式市況

グローバルの株式市場は、前期末と比較して上昇しました。期前半は、主要国中央銀行（日本除く）による利上げ局面終了への期待感が下支えとなった一方、中東情勢の緊迫化などを受けて相場は不安定化する局面もみられました。期後半は、米国を中心に景気軟着陸への期待が高まったほか、AI（人工知能）関連銘柄を中心とした好決算が支援材料となり、グローバルの株式市場は上昇しました。期末にかけては、米国の景気後退が意識されたことで、大きく下落するなど一時的に不安定な動きとなりました。

為替市況

前期末と比較して、円は米ドル・ユーロの双方に対して円安となりました。

米ドルに対しては、インフレ抑制を目指すFRB（米連邦準備制度理事会）が金融引き締め策を継続する一方、日銀は金融緩和策を維持したことなどから、円安が進行しました。その後、日米金利差の縮小を背景に円高となりましたが、日銀がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持する姿勢を示したことなどから、再度円安が進行しました。期末にかけては、日銀による追加利上げの決定や、米国の景気後退懸念に伴うFRBによる利下げ観測の強まりを背景に、円高米ドル安が急速に進行しました。

ユーロに対しては、ECB（欧州中央銀行）がインフレ抑制姿勢を維持するなか、円安が進行しましたが、期末にかけては、日銀が追加利上げを実施したことなどから、円高ユーロ安が進行しました。

新興国地域において、中国では期を通して緩和的な金融政策を維持するなか、1米ドル=7.2元を挟んだ動きとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行いました。

当期のファンドの基準価額に影響を与えた主な投資銘柄は以下のとおりです。

<プラス要因>

■アクソン・エンタープライズ（米国）

警察など法執行現場で使用される非致死性兵器の開発メーカーで、ワイヤー針射式スタンガンであるテザー銃では独占的シェアを有しています。最近ではテザー銃での成功を足掛かりにボディカメラやクラウドサービスなどへ製品を拡大し、ボディカメラではすでに業界トップシェアを確立しています。また、各国の法執行機関のDX（デジタル技術を活用した業務プロセス改善）進展を支援するなど海外展開も加速しており、法執行現場での安全性と透明性が求められるなか、さらなる成長が期待されています。足元まで好調な業績が続いていることを受けて、当期株価は堅調に推移しました。

■モノリシック・パワー・システムズ（米国）

デジタル技術を活用したアナログIC（集積回路）の設計・開発を行う企業です。デジタル技術を使いアナログICを形成するという独自のコンセプトをもとに、大幅なコスト削減や製造および管理の効率化を可能としたことで、家電向けからデータセンターや車載向けへと付加価値の高い領域に製品提供の場を広げています。顧客企業が希望する性能や仕様に対して柔軟かつ迅速に試作品を提供し、早期の製品投入を支援できる体制が評価され、今後とも市場シェアの拡大が見込まれます。当期はAI（人工知能）サーバー向けへの売り上げ伸長が好感され、株価が上昇しました。

<マイナス要因>

■アライン・テクノロジー（米国）

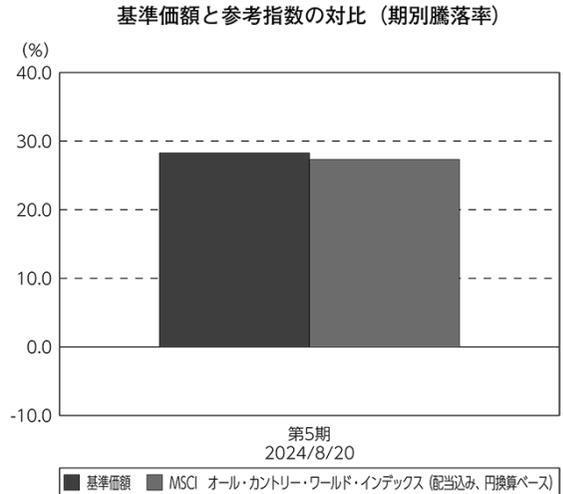
透明な樹脂製マウスピース型矯正装置を提供するパイオニア企業です。同社の矯正装置は既存の金属製矯正装置に対して外見の審美性や装着感で優位性があります。歯列矯正における標準が金属矯正からマウスピース矯正に移行する可能性が高まるなか、技術開発や膨大なデータ蓄積によって対応症例の拡張が進んでおり、さらなる業績成長が期待されています。業績は好調に推移していましたが、足元、主力市場である中国の景気後退や米国でのインフレ進展による消費意欲低下に伴う業績への懸念の強まりが、株価の重しとなりました。

■エムスリー（日本）

医療従事者向けの情報提供サイトの運営会社です。国内では90%超の医師が、また海外でも多数の医師が当サイトの会員となっています。医師との強い接点を活かして、薬剤を始めとする最新の医療情報を提供するなど多様なサービスを展開しています。医療現場での様々な非効率性解消を収益として取り込むとともに、製薬企業のDXのサポート役として成長が期待されています。当期はコロナ特需の反動による業績への影響が長引き株価は軟調となりましたが、特需剥落による業績の最悪期は過ぎたと判断し、また中長期での成長性に対する見方にも変化は無いことから、保有を継続しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークを設けておりません。
 グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



○今後の運用方針

引き続き、国内および海外の金融商品取引市場に上場されている株式を主要投資対象とし、経営戦略とその実行力に主眼を置いた調査・分析を行い、グローバルなビジネス市場において持続的な競争優位性を持つと期待できる銘柄を厳選して投資を行います。

米国ではインフレの鈍化が顕著となり、政策金利のピークアウト、景気軟着陸への期待からグローバル株式市場は上昇を続けていますが、足元では株価上昇に対する過熱感や米景気後退への懸念から大きく調整する局面もみられており、大統領選挙を控え、今後も不安定な動きが予想されます。

そうしたなか、短期的な相場動向には左右されず、独自の競争力評価のフレームワークを駆使してグローバルでの競争に今後も勝ち続ける企業を発掘、投資してまいります。また、地政学リスクを始めとした外部環境の変化を注視しながら、企業の現在および将来の競争力への影響を評価し、必要と判断すればポートフォリオの見直しを実施してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 8 月 22 日～2024年 8 月 20 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 27 (27)	% 0.105 (0.105)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	5 (5)	0.020 (0.020)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	5 (5) (0)	0.021 (0.021) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、ファンドの運営管理にかかる費用等
合 計	37	0.146	
期中の平均基準価額は、25,905円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年8月22日～2024年8月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 1,515	千円 3,683,386	千株 601	千円 1,605,225
	アメリカ	百株 6,019 (1,384)	千米ドル 75,663 (732)	百株 3,434 (-)	千米ドル 56,688 (732)
外 国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	152	5,032	51	2,074
	フランス	1,106	4,216	175	676
	オランダ	48	3,353	38	3,122
	スイス	0.27	千スイスフラン 2,872	0.05	千スイスフラン 547
	オーストラリア	830	千オーストラリアドル 6,247	501	千オーストラリアドル 4,556
	香港	6,204	千香港ドル 44,158	2,328	千香港ドル 17,838
	台湾	2,490	千新台幣ドル 210,846	1,950	千新台幣ドル 185,311

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2023年8月22日～2024年8月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	32,988,384千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,720,362千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.03

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月22日～2024年8月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2023年8月22日～2024年8月20日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年8月20日現在)

国内株式

銘柄	株数	期首(前期末)	当 期 末	
		株数	株数	評価額
		千株	千株	千円
医薬品 (47.9%)				
塩野義製薬	121.4		176	1,165,824
ペプチドリーム	382.2		504.9	1,174,649
電気機器 (24.7%)				
キーエンス	10.8		17.8	1,209,154
サービス業 (27.4%)				
エムスリー	231.2		961.2	1,338,471
合 計	株数・金額	745	1,659	4,888,098
	銘柄数<比率>	4	4	<13.5%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	株数		評価額	
					外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
DANAHER CORP	197	281	7,623	1,116,421	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
WALT DISNEY CO/THE	586	908	8,254	1,208,877	メディア・娯楽	
ECOLAB INC	267	313	7,602	1,113,384	素材	
AMPHENOL CORP-CL A	608	1,205	7,997	1,171,252	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
GARTNER INC	141	166	8,057	1,179,992	ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B	467	1,060	8,834	1,293,850	耐久消費財・アパレル	
SERVICENOW INC	-	93	7,746	1,134,492	ソフトウェア・サービス	
VISA INC-CLASS A SHARES	211	296	7,905	1,157,740	金融サービス	
ADOBE INC	97	141	7,953	1,164,791	ソフトウェア・サービス	
ALIGN TECHNOLOGY INC	150	348	8,372	1,226,224	ヘルスケア機器・サービス	
ANSYS INC	151	-	-	-	ソフトウェア・サービス	
AXON ENTERPRISE INC	285	216	8,072	1,182,215	資本財	
AMAZON.COM INC	394	428	7,635	1,118,189	一般消費財・サービス流通・小売り	
EXPONENT INC	529	744	7,851	1,149,809	商業・専門サービス	
INTUITIVE SURGICAL INC	157	169	8,193	1,199,985	ヘルスケア機器・サービス	
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	95	91	8,382	1,227,599	半導体・半導体製造装置	
NVIDIA CORP	113	719	9,350	1,369,439	半導体・半導体製造装置	
STAAR SURGICAL CO	880	2,119	8,114	1,188,440	ヘルスケア機器・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,334 17	9,304 17	137,949 -	20,202,708 <55.7%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
HANNOVER RUECK SE	235	313	7,761	1,259,718	保険	
RATIONAL AG	69	90	8,220	1,334,211	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	304 2	404 2	15,981 -	2,593,929 <7.1%>	
(ユーロ…フランス)						
DASSAULT SYSTEMES SE	1,152	2,083	7,124	1,156,406	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,152 1	2,083 1	7,124 -	1,156,406 <3.2%>	
(ユーロ…オランダ)						
ASML HOLDING NV	74	84	7,016	1,138,884	半導体・半導体製造装置	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	74 1	84 1	7,016 -	1,138,884 <3.1%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,531 4	2,572 4	30,122 -	4,889,220 <13.5%>	
(スイス)			千スイスフラン			
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-REG	0.41	0.63	6,879	1,168,568	食品・飲料・タバコ	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	0.41 1	0.63 1	6,879 -	1,168,568 <3.2%>	
(オーストラリア)			千オーストラリアドル			
WISETECH GLOBAL LTD	924	1,253	11,541	1,136,706	ソフトウェア・サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	924 1	1,253 1	11,541 -	1,136,706 <3.1%>	
(香港)			千香港ドル			
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	5,291	9,167	58,302	1,096,662	耐久消費財・アパレル	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,291 1	9,167 1	58,302 -	1,096,662 <3.0%>	

銘柄	株数	当期		業種等	
		株数	評価額		
(台湾) TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC KING SLIDE WORKS CO LTD	百株 2,856 1,612	百株 2,706 2,302	外貨建金額 千新台幣ドル 263,293 290,052	邦貨換算金額 千円 1,203,726 1,326,059	半導体・半導体製造装置 テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 4,468	5,008	553,345	2,529,786	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<7.0%>
合計	株数・金額 17,549	27,306	—	31,023,653	
	銘柄数<比率>	26	26	—	<85.5%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注) 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2024年8月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 35,911,752	% 98.9
コール・ローン等、その他	387,550	1.1
投資信託財産総額	36,299,302	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産 (31,198,275千円) の投資信託財産総額 (36,299,302千円) に対する比率は85.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=146.45円、1ユーロ=162.31円、1スイスフラン=169.86円、1デンマーククローネ=21.75円、1オーストラリアドル=98.49円、1香港ドル=18.81円、1新台幣ドル=4.5718円。

○特定資産の価格等の調査

(2023年8月22日～2024年8月20日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	36,299,302,416	
コール・ローン等	385,515,604	
株式(評価額)	35,911,752,837	
未収配当金	2,033,334	
未収利息	641	
(B) 負債	659,871	
未払金	658,871	
未払解約金	1,000	
(C) 純資産総額(A-B)	36,298,642,545	
元本	12,605,150,520	
次期繰越損益金	23,693,492,025	
(D) 受益権総口数	12,605,150,520口	
1万口当たり基準価額(C/D)	28,797円	

(注) 当ファンドの期首元本額は9,546,290,666円、期中追加設定元本額は4,364,923,241円、期中一部解約元本額は1,306,063,387円です。

(注) 2024年8月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル厳選株式ファンド(FoFs用)(適格機関投資家専用)	11,382,513,456円
・リソナグローバル厳選株式ファンド(適格機関投資家専用)	905,744,162円
・リソナ つみたてグローバル株式アクティブファンド	311,313,575円
・グローバル株式厳選ファンド	5,579,327円

(注) 当期末の1口当たり純資産額は2.8797円です。

○損益の状況 (2023年8月22日～2024年8月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	231,630,559	
受取配当金	229,713,122	
受取利息	2,063,922	
支払利息	△ 146,485	
(B) 有価証券売買損益	7,763,682,428	
売買益	9,315,394,513	
売買損	△ 1,551,712,085	
(C) 保管費用等	△ 6,677,553	
(D) 当期損益金(A+B+C)	7,988,635,434	
(E) 前期繰越損益金	11,886,899,445	
(F) 追加信託差損益金	6,101,554,559	
(G) 解約差損益金	△ 2,283,597,413	
(H) 計(D+E+F+G)	23,693,492,025	
次期繰越損益金(H)	23,693,492,025	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。